



社会医療法人社団 沼南会

沼隈病院
常石医院

no.47

H30.3

おおぞら



【沼南会理念】

私たちは、医療・看護・介護のトータルサービスで、地域のみなさまが笑顔でいきいきと人生をおくことができるよう支援します。

【沼隈病院理念】

私たちは、急性期医療から在宅医療までのトータルケアで、地域のみなさまの健康と安全な生活を支援します。

【患者のみなさまの権利】

1. 個人の尊厳と安全で安心な医療を平等に受ける権利
2. インフォームドコンセントと自己決定の権利
3. 診療情報の提供を受ける権利
4. プライバシーの保護と機密の保持の権利



日本医療機能評価機構



私が感動した1冊の本

毎年私どもグループの忘年会は一同（当番以外の全員が）に会して行います。通常私たちの仕事の性質上、各々の持ち場を離れることは難しく、なかなか一同が会することは困難です。しかし忘年会はその年一年の締めでもあり、我々の大切な親睦の場でもあり、皆楽しみに大切にしています。さて今年度は致知という雑誌の小冊子に『歴史創新』というタイトルで掲載されていた文章を、偶然目にし、感銘を受けましたので、その一節をご紹介させて頂き忘年会挨拶といたしました。

その会社（出版社）では毎朝社員全員で『大学』を素読しているということです。中国の古典を毎朝しかも社員全員で素読している会社があるのかと、まず驚き非常に興味を持ちました。『大学』は中国の古典で、儒教の經典の一つです。四書五經の四書に分類されており、倫理学（規範）を示す様です。その古典の書物である「大学」の中に

きゅうほう　いえども　ぬいこれ
「周は舊邦なりと雖も、其の命維新たなり」

という言葉があり、その意味は周という国は古い国だが、その使命は常に新たなり、という意味だそうです。従って自分を顧みて、自分自身を常に維新めるというのが

自己維新
明治維新の維新
です。



昨日の自分に固執せず、常にその現状を見据えて自己を新たにしていくということだと思います。その為にもその会社は全社員に二つのテーマを掲げたということです。

一つは「匠になる」ということ

匠というのは「最高の仕事をする人」です。「伸びている会社にはね、必ず匠が何人もいる。匠のいる会社は発展している。何人匠がいるかで決まる」そして、その匠という人はどういう人かと言えば「3つの念」を持っているということです。

1つ目は、「執念」です。

成功するまではやめないという執念。なさずんばやまず、という強き思いです。完成させるまでは何があってもやり抜くという心です。いい加減に仕事をしている人は匠にはなれません。

執念という言葉は通常、執念深いとか、しつこいとかあまりいい意味で使われないことがありますが、執念は何事をなすに当たって、不可欠な事だと思います。執念の大切さを表現した他の教訓を調べてみました。

執念ある者は
可能性から
発想する。
執念のない者は
困難から
発想する！

松下幸之助

やるべきことが
決まつたならば
執念をもつて
とことんまで
押し詰めよ
問題は能力の
執限界ではなく
執念の欠如である

土光敏夫



2つ目は、「丹念」です。

丁寧。

真心を込めるということです。仕事に手抜きをしないことが丹念です。

理事長 檜谷まりこ

沼隈町常石出身。広大附属福山高等学校卒業後、関西医科大学入学。同大学第一内科入局後、塙本病院(現、常石医院)勤務。平成3年に医療法人社団 沼南会理事長就任。平成22年に社会医療法人社団 沼南会理事長に就任。沼隈病院、常石医院、訪問診療の診察を行う。

- ・前広島大学臨床教授
- ・第40回広島県医療功労賞受賞
- ・関西医科大学森本園子賞(医療功労賞)受賞



理事長 檜谷まりこ

3つ目は、「情念」です。

情のある人ってどういう人を思い浮かべますか?

思いやりがある人。愛情が深い人。思いやりがないといい仕事は出来ません。コミュニケーション能力とも言えます。コミュニケーション能力というのは人間だけのことではありません。情報も機会(チャンス)も、この能力がないとキャッチできません。それぞれの社員が匠になつたらすごい会社になります。全社員がそれぞれの部署で匠を目指したいものです。こんなすばらしい仕事をする人はいなない、というくらいに。

自己維新するために

もう一つ大事な事、「与える人になる」

ということです。

会社が何かしてくれないと
か、そんなことばかり言って
いる人は子どもと同じです。

ケネディという大統領が言
いました。

「国家が自分に何をしてくれるかを問うな
自分が国に何が出来るかを問え」



人が何かをしてくれないと
いう人ばかりいる組織は衰
退していくのです。
自分の周りの人に何が与え
られるか。
その視点を持つことがす
に維新です。



最後に詩を紹介させていただきたいと思います。

内科学会総会が東京の国際会議場でよく開催され、その中に相田みつを美術館があります。

言葉の力に勇気づけられ、気づかされ、支えられることが多いあります。

雨の日には雨の中を
にんげんだもの 相田みつを
暖かい春の陽さしを
ボカボカと背中に受けて
平原道をのんびりと歩いて行くー
そんな調子のいい時はかりはないんだな
あつちへぶつかり
こつちへぶつかり
やることなすこと
みんな失敗の連続で
どうにもこうにも
動きのどれぬことだつてあるさ、
当てにしていた友達や仲間にまで
そッポをむかれてさ
どつちをむいても
文字通り八方ふさがりー
四面楚歌ツテやつだな
それでも
わたしは自分の道を自分の足で
歩いてゆこう
自分で選んだ道だものー



雨の日には雨の中を
涙をながすときには
恥をさらすときには
口惜しい時には
「こんばへしよう」と
ひとり歯ぎしりを咬んでさ
黙つて自分の道を歩き続けよう
いくら言つたって
愚痴や弁解なんて
何の役にも立たないものー
そしてその時こそ
目に見えないのちの根が
太く深く育つ時だから
何をやっても思うようにならない時
上に伸びられない時に
根は育つんだから



何をやっても思うようにならない時、上に伸びられないとき、その時こそ根は深く育つのだから。
私達もこの詩のように力強く(忍耐づよく)そして自然体で、ありたいものです。



第19回 日本認知症グループホーム大会報告

発表目標

認知症施策及び認知症グループホームを取り巻く様々な課題について、その人とその家族、地域住民、介護従事者、そして事業所が支援の輪で繋がり未来を共に切り開いていく大会の場で様々な議論を行った内容について報告をします。

発表内容



はじめに

- ①「認知症」・「介護事業体」・「市民」でのふれあい
- ②他法人事業体(通所・グループホーム)行政等との連携
- ③「利用者」・「市民」社会参加・役割創出
- ④介護・市民ボランティアマッチング
 - △
実践を通しての相互理解
「必要とするもの」「必要とされること」のマッチング

今回私達は、「介護施設 ぶらり!さんぽツアー」を実施しました。これは、たまたま、認知症サポートステップアップ研修受講者から『私たち、介護サービスで、ボランティアなどができるかな?』という言葉をスタッフが聞いたことが始まりでした。

そこで私達は

- ①認知症・介護事業体・市民でのふれあいができるか?
 - ②他法人事業体・行政との連携で何かできないか?
 - ③利用者・市民・社会参加・役割を見出せないか?
 - ④介護・市民ボランティアのマッチングができるか?
- と考え、今回の企画を計画しました。

開催に向け作成したポスターです。

これに私たちの思いが詰まっており、介護事業体・利用者・ボランティア希望をされている参加者や協力者がこの企画を通し様々なものを観て・聞いて・感じてくださいればいいな~と思い作成しました。また中央の新緑の芽はこの企画が色々な創生のキッカケに繋がれば、といった思いで選びました。



まりホーム内海 風景



参加者は、12名で男性3名、女性9名でした。認知症サポートステップアップ研修参加者の方々で平均年齢65歳以上の方々でした。

実施内容は、介護施設の見学、見学後の参加者・介護事業体スタッフ参加での振り返りミーティングを予定しました。

開催当日スケジュールです。1日開催の計画を立案しました。

9時20分に、福山市内の行政関連施設「すこやかセンター」へ参加者・事業体・行政関係者が集合し開始オリエンテーションを行いました。

9時30分から15時00分で、参加者が2グループに分かれ、グループホーム、デイサービスの見学を行いました。

15時からは、参加者・介護事業体スタッフ・行政関連職員での振り返りミーティングを行いました。

グループホームまりホーム内海での見学にいらした場面です。中央で歩行器をもち立っておられる方が、案内役をして頂いた入居者です。案内人の「いらっしゃい!」という声で、来訪頂いた参加者を温かくお出迎えしました。

まりホーム内海での見学場面です。ホームで入居者を交えた座談会や、お昼は一緒に食事を頂いたりしました。認知症の方は、不愉快な空間であれば、すぐにBPSDが出現し徘徊などが起こりますが、この日は、案内役の方、他入居者のBPSDが出現する事もなく、終始笑顔で楽しい時間を過ごされました。※BPSD: 行動・心理症状

まりホーム内海での見学 風景



テーマ

「手と手を繋ぐ認知症支援の輪」



デイサービス ラ・ヴィータ(※他法人)での見学風景です。

デイサービス ラ・ヴィータでは、社会参加型の通所介護サービスを提供しており、そこでも利用者が案内人をスタッフとともに務め、お食事もバイキング形式での提供を行い、利用者と一緒に召し上がって頂くなど、普段の通所介護場面を利用者・スタッフとともに過ごして頂きました。

15:00 からのミーティング場面です。議題として

1. ツアーに参加されての感想
2. 受け入れ側介護施設からの感想
3. 次回開催に向けて、実施したら良いと思われること
4. 私たち市民・事業体にできること



について話し合いました。

その中で、双方忌憚なく話し合え、振り返りが行えました。

参加者からの感想を抜粋したものです。

グループホームとは「地域と一緒に見守っていく体制作りの重要性や認知症の方一人一人違うケアが必要なんだ」と言う事やデイサービスでは、生き甲斐ややりがいを重点課題に掲げ取り組んでおられる事をご理解して頂いた様でした。体験を通して様々な議題等を感じられた事で介護サービスへの理解や感動が生まれ、わが事として捉え、自ら何か出来そう!と思って頂けた様です。

介護施設スタッフの感想を抜粋したものです。

感想をまとめると、介護現場で、この企画準備・当日を含め入居者・利用者に役割が生まれ、非常に楽しみながら実施することができました。介護スタッフのボランティア受入れ意識は何かをしてもらわなくても『ただそこにいてもらえばいいんだ!』と言った思いに変容しました。私たちが普段当たり前に行っている介護業務を観て頂き参加者の方からの言葉で思いの共有が図れたり、私たち自身の業務に対する意欲向上につながりました。

考察です。

今回の企画運営全体を通して、法人・参加者・行政関連機関との連携がスムーズであり、様々な事が検討、実施されやすかったと考えます。ボランティアという共通目標で介護スタッフ・参加者が介護現場で一緒に時間を過ごせた為と考えます。

結果です。

今回の企画で、参加者・介護スタッフ双方が一緒に『観て・聞いて・感じること』で様々な心理的変容が生まれました。参加者は、認知症、介護サービスへの理解、感動とともに認知症やケアを自分のこととして考えられる様になりました。また介護事業体でボランティアを実施する際のイメージが具体的になった様でした。介護スタッフは、ボランティアの受け入れはぶらっとご近所に立ち寄る感覚で来て頂き、ただ、その空間で傾聴頂いたり、利用者や私たちを見守っていただければいいという認識に変容しました。

おわりに

地域密着型のグループホームは地域・市民ボランティア・介護・認知症など、様々なマッチングの場に適切である事が再認識されました。マッチングは形式的にされるのではなく、今回の企画の様に人と人との触れ合える機会を創る事が必要であると感じました。今後も皆で観て・聞いて・感じることを大切にして様々な心のマッチングを目指していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

デイサービス ラヴィータでの見学風景



15:00～振り返りMTG



結果

参加者

- ・参加者認知症・介護サービスへの、理解、感動などポジティブなイメージになり、「自分たち」としての認識やボランティアに参加した時のできることを考えられた

介護事業体スタッフ

- ・介護事業体スタッフは、ボランティアの方に対して『何かしてもらおう。』→×『気軽に、ただいていただくこと』→○の認識に変化

- ・ボランティアのマッチングの目的など、求められる時間が『お知りたい』になる事『わかりマッチング』をする事



ご清聴ありがとうございました。

感想

今回全国大会に出場させて頂き、自分が働いている職場が実施した取組みを発表する機会を頂き大変緊張しましたが、全国のグループホームの発表を聞くことができ、多くのことを知り、学んで帰ることができ、とても良い経験をさせて頂きましたので、今後に繋げていきたいと思います。

福山市・尾道市がん検診の成果

—沼隈病院—

沼隈病院名誉院長 平林光司

両市は、罹る方が多く早く発見すれば治る可能性が高い癌に対して、補助金を出して受診を勧めています。しかし、果たしてその効果はあるのか?沼隈病院に来られ、検診を受けられた方について調べてみました。左(※1)に最近3年間の受診者数、右(※2)に発見された癌と受けられた主治療法を示しました。確かに受診数は毎年増えていますが、まだまだです。何故か?右の表をよくみてください。多くの癌でマイルドで負担も少なく後遺症も殆どない治療が行われています。まさに検診で見つかった癌は初期のもので負担の少ない治療法で治るのであります。私の好きな標語《症状のないのが初期症状(日本対癌協会)》がピッタリ!どうかこの補助つき検診を受けて、100歳を目指しましょう。

最近3年間における受診者数 (※1)				発見された癌患者と主治療法 (※2)		
	平成27年	平成28年	平成29年	胃がん	4名	ESD 3名、全摘1名
胃	161	171	214	大腸がん	3名	ESD 3名
大腸	220	222	193	肺がん	0名	
肺	172	163	162	乳がん	6名	温存4名、全摘2名
乳房	173	244	305	頸がん	10名	異型性上皮8名追及中、0期1名(Cone)、1B期1名(根治)
子宮	229	221	187	※ESD:内視鏡による手術		
計	955	1021	1061			



私たち失敗を許します。失敗は成功のもとです。お互い手を取って頑張りましょう。

職員募集

見学は随時対応しています。

《平成30年卒業の方対象》一緒に働きませんか?キャリア支援や資格取得も応援します!

看護師、准看護師、介護福祉士、看護補助者(介護士)、薬剤師、社会福祉士
理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、診療情報管理士

《中途採用》職場復帰をお考えの方、長いブランクのある方、初めての方、しっかりサポート致します。託児所完備ですので、幼いお子さまがいらっしゃる方も安心して働けます。

看護師、准看護師、介護福祉士、看護補助者(介護士)、訪問看護
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、介護支援専門員、法人事務

職員寮や託児所の見学も随時対応しています。
詳しくはホームページをご覧ください。



経営管理部 084-988-1995

社会医療法人社団 沼南会

沼隈病院 ☎(084)988-1888

常石医院 ☎(084)987-0045

介護老人保健施設 ぬまくま
(訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション)
☎(084)988-1165

社会福祉法人 まり福祉会

まりホーム熊野 グループホームぬまくま
☎(084)959-1166 ☎(084)987-4115

まりホーム内海 まりデイサービス内海
☎(084)986-2255 ☎(084)986-2200

地域密着型特別養護老人ホーム まり沼隈
ショートステイ まり沼隈 ☎(084)980-8011

まり高齢者複合施設 山南 ☎(084)988-1767

山南クリニック まり訪問看護ステーション
まり介護付高齢者住宅 山南 (訪問リハビリ)

まりショートステイ 山南 まり訪問介護ステーション

まりデイケア 山南 山南居宅介護支援事業所

まり居宅介護支援事業所 ☎(084)988-0065



沼隈病院は、救急指定を受けた
24時間診療の病院です。

急病やケガの場合は、休日や
18時以降も受け付けております。



求人のお問い合わせ

ホームページ

沼隈病院 検索

沼南会 経営管理部 ☎720-0402 福山市沼隈町大字中山南469-3
TEL(084) 988-1995 FAX(084) 988-1996
honbu@shounankai.com